

聖マリア病院を過去に受診された、または現在受診中の皆様へ

聖マリア病院では、皆様の診療情報等を利用し、下記の研究を実施しております。

研究内容につきましては、社会医療法人雪の聖母会、研究倫理審査委員会にて承認されたものです。本研究の対象者に該当される可能性のある方で、研究について詳細にお知りになりたい場合や診療情報等を研究目的に利用してほしくない場合は、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。なお、解析用のデータが確定（データ固定）している場合は、研究データから情報を削除できませんので、ご了承ください。

① 研究課題名	体外受精と癒着胎盤に関する研究		
② 実施予定期間	承認後 ～ 2021年 12月 31日		
③ 対象患者	体外受精で妊娠・分娩管理された患者さん		
④ 対象期間	2010年 1月 1日 ～ 2019年 12月 31日		
⑤ 研究機関の名称	社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院		
⑥ 対象診療科	産婦人科		
⑦ 研究責任者	氏名	下村 卓也	所属 産婦人科
⑧ 使用する資料等	診療情報等より下記事項を調査します。 年齢、身長、体重、病歴、既往歴、治療歴（治療薬、投与量を含む） 胚移植時の子宮内膜厚、血液検査データ、画像データ（超音波画像）		
⑨ 研究の概要	癒着胎盤発症増加の要因として妊婦の高齢化 や帝王切開分娩の増加、前置胎盤などが知られていますが、近年では高度生殖補助医療（Assisted Reproductive Technology, ART）が新たなリスク因子として報告されています。しかし、癒着胎盤を合併したARTのうち、不妊治療内容を検討された報告は少ない。本研究では、久留米大学が代表施設となり情報を収集し癒着胎盤を合併したART症例から不妊治療内容、背景および癒着胎盤の原因について検討します。		
⑩ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑪ 結果の公表	学会や論文等で発表いたします		
⑫ 個人情報の保護	個人情報を守るために責任者を設定します。研究する際、個人の特定につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて（このことを「匿名化」と言います）管理します。また、学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。		
⑬ 知的財産権	聖マリア病院および久留米大学に属します		
⑭ 研究の資金源	なし		
⑮ 利益相反	研究結果に影響を与えるような利害関係はありません。		
⑯ データの2次利用	本研究で得られたデータ等の2次利用により新たな研究を行う場合は、改めて研究計画書を作成し、再度研究倫理審査委員会の審査を受けます。		
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	聖マリア病院 産婦人科 下村 卓也		
	電話	0942-35-3322	